

# 都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査（平成28年度）

人口減少、少子高齢化等を踏まえた計画的な土地利用コントロールによる緑地・農地と調和した都市環境・都市景観の形成や、現在作成中の「都市農業振興基本計画（案）」等を踏まえた、都市農地の保全や都市農業の多様な機能の発揮に関する取組みを即地的に検討する直轄調査を行う。

即地的な検討を行うため、地方公共団体等への委託（国庫委託金）による国の直轄調査を実施

地域における都市と緑・農が共生するまちづくりに関する課題（右欄のテーマ①～④）の解決に向けた取組を公募

地方公共団体等が取組を提案

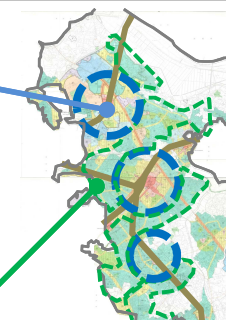
第三者委員会により提案を選定

地方公共団体等と委託契約を締結し、地域の状況に即した実証調査を実施

## 調査内容のイメージ

### テーマ① 都市機能や居住を誘導するエリアにおいて、魅力ある都市空間を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用

- 例)・農地の緑地機能を評価し、緑の基本計画等に位置づけるにあたっての課題把握
- ・NPO団体や企業などの参画による都市農地の保全・活用方策の検討
- ・市街地における生態系ネットワークの形成手法、モニタリング手法検討



### テーマ② 居住等を誘導するエリアの外側等において、持続的な土地利用が行われるための緑地・農地の保全・活用

- 例)・屋敷林と一体となった農地の管理・活用に関する検討
- ・農地の貸し手と借り手のマッチングや市民農園の整備・管理に関する検討
- ・市街地周辺部の緑地や農地等で形成される良好な景観の保全手法の検討



良好な都市環境の形成に寄与する屋敷林と農地

### テーマ③ 広域的な観点から取組む緑地・農地及び景観の保全・活用

- 例)・広域的な緑地のネットワーク形成、保全年針の策定、及び広域連携組織の立ち上げ等に向けた検討
- ・良好な景観の形成に関する広域連携に向けた合意形成手法の検討
- ・良好な広域景観の実現に向けた基本の方針の策定や行為の制限等の基準の統一、案内板等の公共サインのデザイン調整等の検討



広域緑地のイメージ



広域景観のイメージ

### テーマ④ 都市農業の継続・振興

- 例)・直売所等間のネットワーク強化による品揃えの確保や効率的な物流体制の構築

# 都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査（平成28年度）

## 募集概要

### [募集内容]

緑地・農地と調和した都市環境・都市景観の形成や「都市農業振興基本計画(案)」等を踏まえた都市農業の多様な機能の発揮を促進するための即地的な検討を行う取組

### (募集テーマ)

- ①都市機能や居住を誘導するエリアにおいて、魅力ある都市空間を形成するための緑地・農地の保全・創出・活用
- ②居住等を誘導するエリアの外側等において、持続的な土地利用が行われるための緑地・農地の保全・活用
- ③広域的な観点から取組む緑地・農地及び景観の保全・活用
- ④都市農業の継続・振興

### [応募主体]

- 地方公共団体
- 地方公共団体を構成員に含む団体(協議会等)等
- 緑地管理機構又は景観整備機構
- 地域活性化に取り組む団体

### [委託経費]

1件あたり原則500～800万円程度

### [採択件数]

予算の範囲内で採択

### [委託期間]

契約締結日の翌日～平成29年3月上旬

## スケジュール

応募書類提出期間 平成28年3月18日(金)  
～4月22日(金)17:00迄

評価委員会の開催・選定結果通知 (5月下旬予定)

現地視察・ヒアリング (選定結果通知後～)

契約の締結

取組結果の報告会 (平成29年2月中旬予定)

※平成28年度当初予算の成立時期によっては、変更が生じる可能性があります。

## 提案の評価方法

募集テーマに沿った提案について、以下の評価方針に基づき、有識者からなる評価委員会で評価し、選定団体を決定する。

- 提案する取組と本調査の趣旨との整合性
- 提案する取組の先導性、汎用性
- 提案する取組の実現性